

第13回 日本認知神経リハビリテーション学会学術集会プログラム

学会1日目 2012年10月13日(土) 受付 9:00～

10:00～10:05 プロローグ：認知の樹

10:05～10:40 ■学会長講演

「臨床の希望～身体と精神と認知神経リハビリテーション～」

小川 昌 (YMCA 米子医療福祉専門学校)

10:50～12:20 ■特別講演

「臨床における認知と意識」

大東祥孝 (京都大学名誉教授、周行会湖南病院顧問)

12:30～13:00 ■総会 (学会員のみ)

13:30～15:30 ■一般演題、各地の勉強会の紹介

15:50～17:10 ■講演「機能回復の探求」

・第1会場 (中枢神経疾患)

「高次脳機能障害の回復に挑む～失行症と半側空間無視の新たな病態仮説と認知神経リハビリテーションの実践～」

高橋昭彦 (高知医療学院)

・第2会場 (整形外科疾患)

「難治性疼痛に対する新しい治療展開～みれない・さわれないときどうするか～」

奥埜博之 (摂南総合病院 認知神経リハビリテーションセンター)

・第3会場 (小児発達)

「身体表象の発達と行為の創発～行為が生まれる瞬間～」

浅野大喜 (日本バプテスト病院)

17:20～18:20 ■映画

「認知をめぐる長い旅路」 (前編)

Carlo Perfetti、Aldo Pieroni

解説：宮本省三 (高知医療学院)

19:00～ ■レセプション (広島市文化交流会館 1階 フォーシーズン)

9:20～10:20 ■映画

「認知をめぐる長い旅路」 (後編)

Carlo Perfetti、Aldo Pieroni

解説：宮本省三 (高知医療学院)

10:30～14:10 ■講演「患者と語る」

●10:30～11:20

- ・第 1 会場 「脳梗塞後遺症患者の肩の広がり求めて」
井内 勲 (岡崎共立病院)
- ・第 2 会場 「大腿骨転子部骨折後患者の身体意識に関わる一考察」
大島埴生 (岡山リハビリテーション病院)
- ・第 3 会場 「パーキンソン病における姿勢制御異常と患者の認識の関係から」
三上恭平 (登戸内科脳神経クリニック)

●11:30～12:20

- ・第 1 会場 「自己身体の回復とその認識に解離のあった症例～橋・小脳梗塞～」
宮城大介 (青磁野リハビリテーション病院)
- ・第 2 会場 「Positivi Elemento としての痛みと痺れ」
玉木義規 (医療法人社団仁生会 甲南病院)
- ・第 3 会場 「“創り出す言語、と “作られた言語、から何を受け取るべきか」
吉田里美 (松江記念病院)

●13:20～14:10

- ・第 1 会場 「重度感覚障害を呈した左片麻痺患者の世界～『自分らしい足』を取り戻すために～」
生野達也 (摂南総合病院 認知神経リハビリテーションセンター)
- ・第 2 会場 「身体表象の内部観察～幻肢痛患者に対して～」
大住倫弘 (摂南総合病院 認知神経リハビリテーションセンター)
- ・第 3 会場 「病態失認を呈した 3 人の患者の物語～身体と精神の回復に向けた新たな仮説～」
平谷尚大 (高知医療学院)

14:20～15:40 ■講演「訓練と現実」

「創発の方法～訓練と現実における行為のリンク～」

園田義頭 (高知医療学院)

15:40～

エピローグ：認知の樹